



2011年11月25日発行
通算 第104号

会員だより 12月号

NPO 法人 大田・花とみどりのまちづくり
〒144-0051 大田区西蒲田 7-24-7-203
Tel&Fax. 03-3734-7932 / npoogc@yahoo.co.jp
<http://hanamidori.sakura.ne.jp/>



みどりに関する「困った」を解決して喜んでいただきたい!

GHC(ガーデンヘルパーズクラブ)～みどりの便利や～

GHC(ガーデンヘルパーズクラブ)は、会の自主収益活動として、設立2年目の頃より、周囲からの要望を受けて「みどりの便利や」として活動を開始し、後に「GHC」と名称変更して発足しました。現在は、社協からの紹介、会員の知人、会の関係者、福祉関係の団体を経由してその利用者の方、ふれあいパークのグループ等からの依頼を受けて、主に個人宅や区内公共施設等で、活動しています。

喜んで頂けた作業内容は、ごく普通の庭木の手入れは勿論のこと、

- 長く入院をしていたため、傷んでしまった庭の修復
- 部屋の中やベランダの鉢の植替えと不要になった土の処理
- 樹木の剪定と草花の手入れに合わせて、物干しの修理
- 会員だよりにも報告している、多目的広場の芝刈り(テクノFRONT森ヶ崎こと、大田区大森南四丁目工場アパート多目的広場)等々(→の写真参照)と、大変多様です。



具体的には「業者の方に依頼するほどまででない仕事を頼めてうれしい」「家の中に入るのでまったく知らない人には頼みたくないの助かる」「ついでにいろいろしていただけるのが嬉しい」などの声をいただいています。お一人で住まいの高齢者のお客さまからは「作業の休憩時間におしゃべりが出来た」と喜ばれました。現在は男性が中心となつての活動ですが、むしろそうした交流を考えると、女性の出番も大アリ!です。

剪定講習会で学習した会員の実践の場ともなっています。中には会員だけでは手におえない作業の依頼もあり、そうしたときは業者の方の力も借りています。

今月は会員宅の向かいの家から依頼されて、実もたわわになっている柿の木の剪定を行い、お土産に大きな柿を頂きました。(→)



みどりを通して人とつながり、喜んでもらえて会の運営資金につなげることも出来る「GHC」。お近くの方、お知り合いの方の中に、みどりのことでお困りの方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。見積りは無料で致します。また、ご興味のある方には、ぜひ活動にご参加いただき、ご意見、提案によってより良い活動につなげたいと思っています。ご一緒に楽しく作業をしましょう。(緑化啓発部・ガーデニング調整担当:藤澤)

事務局からのお知らせ

来年度事業計画立案のため、会員の皆さまからの事業に対する企画・提案を募集します。どしどし応募してください。詳細は1月会員だよりにてご案内します! 「こんなことやってみたい!」という新鮮なご意見を期待しています。(事務局)

お疲れ様でした！

＊ ＊ イベント＆花壇作りの11月 ＊ ＊

ガーデニング基礎セミナー

：11月1日(火)、8日(火)

第3回目(11/1)と第4回目(11/8)は㈱サカタのタネで長年商品開発をされた小杉波留夫氏に先生をお願いしました。11/1は、サカタのタネ開発の「サンパチェンス」を例として、葉の組織の生長による植物の環境浄化能力について学び、有害物質であるホルムアルデヒドが最終的には二酸化炭素に代謝されるというシステムにびっくりしました。最後にサンパチェンスより生成したバイオエタノールによる発電実験を行い、無事発電されてプロペラが回転し先生も私たちもほっと一安心！

11/8は小杉先生が家庭で行ったクリスマスローズの交配結果をもとにメンデルの法則を学び、昔の生物の授業を少し思い出しました。最後に4種類の花の種の種まき実習を行い、プラントプラグの便利さに感心しました。是非とも当会でもプラントプラグを使用したいという声がたくさんありました。両日30名近い参加者で大盛況でした。(阿部敏章)



「ニワカテンインが見た おまつり」

～第1回いつつのわふれあい祭り:11月3日(木)

当日朝11時頃、出かけていってビックリ！！いつもの見慣れた芝生公園が一変しているではありませんか。キチンと整理され並んだ自転車、自転車、また自転車、たくさんの人、人、人…0歳からX歳までごった返していました。

さて当店の人気商品 勝手ランキング

第1位:ピンクのチューリップの球根

第2位:ミニサボテン

第3位:暖色系パンジー となりました。

初対面でしかも拙い説明にもニコリとなさる方、100円玉をしっかりと握り締めた子どもたちの真剣な目、大切なお金を払ってくれました。この子達が目どり大好きのまま成長してくれるよう、成長に応じて何かサポートできないか、会員の皆様一緒に考えてみませんか？(阿部多恵子)



蒲田東口円形花壇の土づくり・植替え

：11月4日(金)

11月4日(金)午前、赤白にきれいに咲き誇っていたサルビアを抜いて土作りをしました。青年のようにカー杯スコップで土作りする男性軍の活躍に頭が下がりました。

同日午後には、今年3回目蒲田高校の学生23名が会員の指導の下、植え付けをしました。慣れてきぱきと植える学生、おしゃべりばかりで花の首を持ってポットからはずし掘った穴に入れ土をかけるだけの学生…指導は難しいですね。

黄色のパンジー一杯の花壇になりました。次は土作り体験いかがでしょうか。(荻野博子)



OTAふれあいフェスタ：11月12日(土)、13日(日)

冷たい雨も上がり秋晴れの11月12、13日、区の一大会に平和の森公園で花苗の販売と寄せ植えで参加しました。事前打ち合わせ会でお店を華やかにしようと価格や表示の工夫、クリスマスツリーの展示をしました。1日目終了時に一言反省会を行い、2日目はレイアウトの変更などを行いました。

会員参加は両日で延35人、花苗800株を完売し売り上げは約14,5万円と大盛況。会員みんなで作るイベントになった楽しい2日間でした。(荻野博子)



¿Sabéis que?
(これ知ってる?)

大田区の農業の歩み&シクラメンの里

えっ！大田区にも農地があるの?? そうなんです。大田区には 15 軒の生産農家の方がいらっやいます。中でも大田のシクラメンは有名です。
会員の渡邊昭さんがシクラメンの里をレポートしてくださいました。



馬込でタネからシクラメンを育て販売している農家があることをご存じですか？
それも50年以上もつづいているのです。春には幼い苗を鉢上げします。6月になると、苗は熱帯夜の東京から茨城の農場(温室)で避暑生活・・・その間冷涼な気温に恵まれた環境の中で、大きな鉢に定植され堅く締まった株に育ちます。そして、10月すべてのシクラメンは馬込に帰ってきます。その後は無加温の温室で育ち、11月には開花します。9月に自家採取したタネを蒔いてから開花までに13カ月もかかっています。
馬込のシクラメンの特徴は、開花促進のホルモン剤(ジベレリン)等を一切使用しない自然栽培です。そのため、花が途切れることなく順に付き5月頃まで咲き続きます。「馬込シクラメン園」(中馬込・波田野章氏)、「君島園芸」(仲池上・君島惣一氏)両園とも三世代のご家族でシクラメンを育てています。
12月上旬の最盛期に訪れると(1)開花した一万鉢、(2)育苗温室には来秋咲く2cmほどの苗、(3)採種用温室には再来年咲く種子が付き始めている鉢、の“シクラメン三世代”を見ることができます。
さあ、みなさんで馬込産シクラメンを応援しましょう!!



12月4日(日)に行われる野菜と花の品評会では出展された区内産の野菜・花の展示即売会が、また区民参加の収穫祭では、大田区の農に関する展示や、私たちの知らない大田区のちょっと前の農業風景について、直に農家のからお話を聞くコーナーを予定しています。馬込産の半白きゅうり、三寸人参、小松菜などを作り続けている大田区の農業をもっと知りたくなりますヨ!! (内田秀子)

募集券

求む!! イベント運営スタッフ! 野菜と花の品評会&区民参加の収穫祭

下記の日程で野菜と花の品評会&区民参加の収穫祭が行われます。
当会企画運営の収穫祭でお手伝いいただける方、大募集しています!
ご協力いただける方は別紙アンケート用紙にマルをつけ、事務局宛にお送りください。

- ★ 日時 12/4(日) 10:00~(スタッフは9:00集合)
- ★ 会場 大田区産業プラザ PiO (企画事業部担当:牧野)

<今月の同封物> ◆活動アンケート ◆せせらぎセミナーチラシ ◆大森南圃場日直・当番表(圃場活動登録者)
◆名札&名札の使い方説明 ◆すみれ塾チラシ(5回~8回)